

19/5/7 河村たかし名古屋市長定例記者会見

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

----

記者:市長、関連でちょっと前なんですけど、トリップアドバイザーというインターネットサイトで名古屋の観光都市のランキング名古屋が6位  
今まで圏外だったが、6位に入ったということなんですけれど  
まあちょっと前の市の調査でも魅力がない、  
いきたくない街は1位ということだったんですけれど  
名古屋の人に聞いても連れて行くところがないとかっていう声もあるんですが。  
観光地としての魅力って何か変化しているんですか。

市長:やっぱお城が大きいんじゃないの。ここまでやっていますから。  
やっぱり。

記者:本丸御殿のことですか。

市長:いやいや名古屋城の天守木造復元。僕は大きいと思いますよ。  
そういう話題にもなるとるし、いま文化庁のところについておりますけど。  
でもやっぱシンボルですからね。これ。  
名古屋のシンボル。一言、一つでいったらやっぱり名古屋城でしょ。お城のシンボルと言ったら、本丸御殿もでございますけど天守ですからね。それは。  
それがなんと  
夢物語じゃなかったですか、ちょっと前まで。  
あんな巨大なコンクリート建造物がですね。  
図面があって実は国宝1号というのは姫路城があって名古屋城だってあるとこれが木造に変わるというのは  
夢物語が実現されていくとほんとかね、それ。  
というのが僕はやっぱ名古屋に若干皆さんの目が向けられた  
きっかけとしてはでかいと思います。

記者:その天守自体は立ち入り禁止にはなってますけど、その  
名古屋城の敷地に入るが増えているんですか。

市長:ほりゃ、外から見ても立派ですからね。ほんとに。  
昨日も歩いたら東京の人かしらんけど正門から入ってみると、ちょっと歩いて見るとやぐらの

他に天守がみえるじゃないですか。

えらい立派じゃなあっていってましたよ。

昨日のイベントの東京から帰ってくるときに。

やっぱりまあ名古屋人からするとなんか非常にコンクリートになってまってミゼラブルな気持ちになっただけです、若干。

それで、夢物語は実現していくのかというのはやっぱり他の人から見た感じもあるけど名古屋人、名古屋に住んでる人間そのものは、やっぱり自信を取り戻してきたというのは大きいじゃないですか。ほんとに。と思いますけど。

まあ本丸御殿もせっかくやっておりますけどみんな来ると立派だなあってと言っておりますけどね。確かに立派だし

3種類の絵があります。

昔の国宝と。覚えていってちょうよ

新しく来た人。昔の国宝 70 枚 140 年焼けずに残ったやつ。

それからあとはコピーという怒るかもしれんけど模写ですね。もう一方デジタル模写、これは最新鋭の技術でカメラにとって印刷すると。これも素晴らしい。

3種類あるんです。みんな楽しめる。

記者: すいません。質問してよろしいですか。あの一ていうことは令和時代は文化を高めていきたい豊かにしていきたい令和の時代に初めての一番最初の挑戦の大きなプロジェクトが名古屋城だということですか。

市長: やっぱりそうだと思うね。

記者: 私が聞いたからそういうことになっていると。

市長: ええ、いや平成の時代から令和の時代ですか、  
に変わってくるんだけども。

陛下は非常にフレンドリーな方だから期待しとんのですけどね、ちょっとあそこのキャッスルだったかな。市議員さんたちも何人かおられたけれども、お会いした時に河村さんでしようわしの衆議院時代の名刺もってござったんです。

どえりやありがたい思いしましたけど。

そりやあれですけど。

産業で日本を引っ張ってきた名古屋の

時代は時代で、さらに高みにいかんといかん

今度はまあ名古屋の人が自慢できる名古屋だわなあ。世界に。

心の魂みたいなの。

やっぱり図面があった名古屋城。

これ、残してくれた名古屋城と。400年前の寸分たがわず本物がもう1回再現されるという夢物語を実現していくことだと、名古屋のその技術もすごいと言っていましたよ。この前きいたら、図面もあるけど、そう簡単に再現って出来んのだよって言われた。これは、実は。そういう名古屋のまあ。

本物をさらに追及していく深さですかね。。

精神的な深みっていうのが名古屋の街を引っ張っていくと

思いますし、あと千年、二千年とね、やっぱりそのシンボルだったらやっぱりお城でしょ。

一個しかなに？と言ったらどういう人も名古屋だったら名古屋城のことというんじゃない。

ええと思います。わしやは。

記者: えっとすみません。

観光元年ですけれども、10連休中の名古屋の観光面にぎわい面の効果はどうだったとかがえていらっしやいますか。

市長: 結構ぎょうさんようなところに、名古屋城は行きましたけど、ようけな人が来て幸せな感じがするようになってきたんじゃないんですか。なんとなく。

それぞれね。経済的にもいいしね、雇用もいいですし

福祉もええですから。

何か微妙に幸せ感が伝わってくる感じがしましたけどね。

子供が若干多くなっちゃったんじゃないですかね。小さい子が。

出生率はちよつとよう分からないけどそんな感じがしましたね。ようけいろんな所できんちよ連れて幸せそうに。ええことだと思いますけど。

記者: 市が進めてる観光施策の効果が今回出たと思いますか。

市長: じわじわと。出てきとるんで。

熱心にやとるでね。いろいろと。熱心に。まだまだようけやれると思いますけど。わしは。

倒産すると思ってやったらものすごくできる

役所倒産せんでいかんわな。ほんとに。

記者: 市長、名古屋城の話がでましたし

会社質問で任期のお話も出ましたが三期目の任期。

はい。市長は三期は名古屋城を最大の公約に掲げてでられて

今現状は名古屋城の完成目標 22 年末予定ということで  
3 期目任期の先になってしまうんですけど。市長は 3 期目名古屋城の完成を  
最後まで見届けられるというつもりでやられるのか。どういう風に取り組んでいかれるのか。

市長:まあ、一方総理にならにやいかんし。なかなか悩ましい問題なんですね。今精一杯やっ  
とるとということでええんじゃないですか。名古屋城もまあ、私が担当だったらもうちょっと違う言  
い方しましたけど。

違うということは、要するに今の技術提案交渉方式。何遍も言っとるけど、皆さん分かっと思って  
もらとるけ。

新しい公共入札のやり方なんです。これは。

今の名古屋城は、4、5 年前に国会で全党賛成で即日施行された法律があるんです。

公共事業において市営住宅の普通の市営住宅みたいに、この建物をいくらでやるか。

発注者側がこの建物をいくらでと

限定できない場合は、その始めにどういうものをつくるかいうところからコンペをしてもよろしい  
と。そういう法律ができた。その第 1 号。これ。

その前の第 1 号は国立競技場。

地方では第 1 号だと思います。

それをやるためには実は審査会をやらないといけないんで。国交省の指導のもとに。名古屋  
の大森先生、という弁護士さんでありながら設計士やとられる方が中心になって、じゃこれ  
でいきましょうと、このやり方でということで竹中さんと安藤 & ハザマ両方が応募して竹中が優  
秀提案となった。

その案に従って基本的にやっていくと

基本的にそういうやり方なんです。

これは、全くルールにのっとった

やり方をやってきとるわけです。

だからこれはいかあれはいかんいなんていうのは、これはいろんなアドバイスをきくつていう  
のは重要なんですけども、行政的に名古屋が選択したもので議会も通っておりますんで。  
そこんとこ皆さん分かったらんといかんですよ。

これが普通の公共事業の今まで通りの本丸御殿とは違うんですよ。

そもそも発注方式が。

ということが重要でこと、自分が担当者だったら盛んに言いに行きますよ。

これはみんな決めて、審査会までやって、でいいですよ。

もしあれだったら文化財はそういうやり方をしてはいけないとこれは、そんなら文化庁は始め  
に言わんとはいかんです。

これは文化庁もいいですよ、そのかわり丁寧に、ことあるごとという表現でなかったけど、説

明だけしてくださいね。

である課長なんか僕に竹中案と素晴らしいですねと

言ったんですから。ほんとに。

名前をいってもいいけどやめてきますけど、

記者: そうしますとあと残り折り返しになりますが、任期中の中では名古屋城に関して  
はどこまで今やるおつもりでしょう。

市長: だからほんで、取り壊しを何とか OK していただいて、それからをなるべく早く木造にとり  
かかっていたいと丁寧ね。

世界のあるじゃないですか。

木の文化、これは皆さん方覚えておいてね。初めての人が多いで。

ノートルダムとの違いが一番わかりやすいんですよ。パリ。

あれは木の部分は燃えましたが石は残っておるでしょ。表面が。

こちらぱっと見たときに、ランスのキャシーダルも同じですけども、残ってる。だけど日本の  
木の文化というのは名古屋城の天守もそうですけど、何にもなしになってしまう。これ。

そういう場合にオーセンティシティーといいますけど本物性というのはどう考えたらいいか。

というのは大きな議論があった。

ところで文化庁は奈良ドキュメントというのを

作りまして、なくなったとしてもですね、これがなくなったとしても重要な建造物で、その場所に  
造ってそれから、梁だとか柱だとか図面等によって再建というようなことで、そういうものは、  
そういう表現ではないんですけど、いわゆるそれはコピーでなくて、オリジナルなんだと。

日本の木の文化の中で。

といえるというのが文化庁の主張です。

それを実際に実現してるのはなんと名古屋のお城なんだと。

僕は文化庁の応援団だってはっきり言ってますよ。これ。ほんとに。新しく作ったから新しい建  
物であって、なんかいろんなことを言う人がいますけれども、ツーバイフォーや建売と違うんで  
これ。

それがでかいんです。それもなんと戦争だった。

という非常に悲しい人類史上の歴史的事実、

によってなくなっちゃたということですから

今度木造でもう 1 回建てる建物というのはいわゆるオリジナルな、

本物なんだというイマジネーションの力がいるんです。これは。

ええこと言うなあ。これ。本当に、ええこといってるとですよ。これ。人類というのは物理とか  
そういう物理なんてかわからんけれどもそういうものを突然、そういうあるものがなくなってこう  
だ数学でパパとやるようなものじゃなくて、やっぱ人間の悲しみか喜びとかそういうものも継

続的にやっぱりね、多様なものがあるんで人間の文化には、それが名古屋のお城が戦争で燃えたことであり、もう1回もとの姿に戻すということなんです。  
ええこと言いますね。これ。